

H<sub>2</sub>受容体拮抗剤  
日本薬局方  
ファモチジン散

# ガスター®散10%

Gaster® Powder 10%

<参考：本剤の色・形状、貯法（添付文書記載値）>  
色・形状：白色～微黄白色の散剤  
貯法：気密容器、室温保存

試験条件	温度	R.H.
最悪条件	30℃	92%
中間条件	25℃	75%
最良条件	5℃	59%

ガスター散10% 配合変化表（単剤配合） <本剤の性状：白色～微黄白色の散剤>

配合薬剤			配合 単味	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合剤の性状	中間条件						最良条件まとめ	最悪条件まとめ	備考
製品名	メーカー名	成分名					詳細 条件	測定 項目	配合直後	3日	7日	14日			
ガスター散10%	山之内	ファモチジン	単味	1.0g	白色の散剤	25℃ 75%R.H.	外観	100.0	100.2	100.2	99.7	5℃、59%R.H. (30日) で 30日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (30日) で 14日後より軽く凝集		

< 1 1 4 解熱鎮痛消炎剤 >

[ 3 ] サリチル酸系製剤

アスピリン	吉田製薬	アスピリン	配合	0.5g	0.5g	白色の結晶	25℃ 75%R.H.	外観	-		僅かに凝集※1	僅かに凝集※2	(30日) 凝集※3	データなし	データなし	※1:ごく僅かに酢酸臭 ※2:僅かに酢酸臭 ※3:酢酸臭
-------	------	-------	----	------	------	-------	----------------	----	---	--	---------	---------	---------------	-------	-------	------------------------------------

< 1 2 1 局所麻酔剤 >

[ 9 i ] その他

ストロカイン顆粒(5%)	エーザイ	オキセサゼイン	配合	0.8g	0.4g	[白色の顆粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
--------------	------	---------	----	------	------	----------	----------------	----	---	---	---	---	---	----------------------------------	-----------------------------------	--

< 1 2 4 鎮けい剤 >

[ 2 ] アトロピン系製剤

コリオパン顆粒(2%)	エーザイ	ブトロピウム臭化物	配合	1.5g	0.4g	[白色～帯黄白色 の顆粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
-------------	------	-----------	----	------	------	-------------------	----------------	----	---	---	---	---	---	----------------------------------	-----------------------------------	--

< 1 2 4 鎮けい剤 >

[ 9 B ] 植物製剤

ロートエキス散「ホエイ」	アストラ	ロートエキス	配合	0.9g	0.4g	[帯褐黄色～灰黄 褐色の粉末]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後よりわずかに湿潤(±)	
--------------	------	--------	----	------	------	--------------------	----------------	----	---	---	---	---	---	----------------------------------	--	--

< 2 3 1 止しゃ剤、整腸剤 >

[ 6 ] 活性生菌製剤

エントモール散	山之内	耐性乳酸菌製剤(1)	配合	3.0g	0.4g	[白色～淡黄白色 の散剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
ピオフェルミンR	ピオフェルミン	耐性乳酸菌製剤(2)	配合	3.0g	0.4g	[白色～わずかに 淡黄褐色の微粉状 の散剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 28日後よりわずかに湿潤(±)	
ラックビー	日研	ビフィズス菌製剤(4)	配合	6.0g	0.4g	[白色～灰黄白色]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	

< 2 3 2 消化性潰瘍剤 >

[ 2 ] グルタミン製剤

グルミン顆粒(99%) (販売中止)	協和発酵	L-グルタミン	配合	2.0g	0.4g	[白色の顆粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
-----------------------	------	---------	----	------	------	----------	----------------	----	---	---	---	---	---	----------------------------------	-----------------------------------	--

< 2 3 2 消化性潰瘍剤 >

[ 9 i ] その他

イサロン顆粒	グレラン	アルジオキサ	配合	0.8g	0.4g	[白色の顆粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
アスコンプ(50%)	ケミファ	アルジオキサ	配合	1.6g	0.4g	[白色の顆粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
ゲファニール細粒(10%) (販売中止)	住友	ゲファルナート	配合	3.0g	0.4g	[白色の細粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
アルサルミン細粒(90%)	中外	スクラルファート水和物	配合	3.6g	0.4g	[白色の細粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
ドグマチール細粒10%	藤沢	スルピリド	配合	1.5g	0.4g	[白色の細粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
ドグマチール細粒50%	藤沢	スルピリド	配合	0.3g	0.4g	[白色の細粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
ノイエルス(40%細粒)	第一	セトラキサート塩酸塩	配合	2.0g	0.4g	[白色～微黄色の 細粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
ソロン細粒(10%) (販売中止)	大正製薬	ソファルコン	配合	3.0g	0.4g	[微黄色～淡黄色 の細粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	
セルベックス細粒10%	エーザイ	テブレノン	配合	1.5g	0.4g	[白色～帯黄白色 の細粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日) で 35日後まで変化なし	

製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

性状の項の[ ]は添付文書、日本薬局方品（メーカー名なし）は日本薬局方より引用

ガスター一散10% 配合変化表（単剤配合） <本剤の性状：白色～微黄白色の散剤>

配合薬剤			配合 単味	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合剤の性状	中間条件					最良条件まとめ	最悪条件まとめ	備考		
製品名	メーカー名	成分名					詳細 条件	測定 項目	配合直後	3日	7日				14日	35日
<232 消化性潰瘍剤>			[9J] 臭化プロパンテリン・クロロフィル・被覆剤													
メサフィリン末	エーザイ	プロパンテリン臭化物・クロロフィル配合剤(2)	配合	4.0g	0.4g	[緑色の散剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
<232 消化性潰瘍剤>			[9L] 鎮痙・被覆剤（ムチン配合を含む）													
コランテル顆粒	塩野義	ジサイクロミン塩酸塩・水酸化アルミニウムゲル・酸化マグネシウム	配合	8.0g	0.4g	[白色の顆粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
<232 消化性潰瘍剤>			[9T] その他の配合剤													
マーズレンS顆粒	寿 = ゼリア	アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・L-グルタミン	配合	2.0g	0.4g	[青味を帯びた顆粒剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
キャベジンリコーワ散	興和	メチオニン・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム配合剤	配合	4.5g	0.4g	[緑色の散剤]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
<233 健胃消化剤>			[9L] 消化酵素複合剤													
ベリチーム顆粒	塩野義	膵臓性消化酵素配合剤(1)	配合	3.0g	0.4g	[淡黄色顆粒及び淡黄白色顆粒の混合物]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後よりわずかに湿潤(±)	
<233 健胃消化剤>			[9N] 消化酵素・制散・生薬・被覆剤													
S・M散	三共	タカチアスターゼ・生薬配合剤	配合	3.9g	0.4g	[淡灰色～灰褐色の粉末]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
<234 制酸剤>			[3] アルミニウム化合物製剤													
ノルモザン(販売中止)	ピオフェルミン	合成ケイ酸アルミニウム	配合	10.0g	0.4g		25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
アルミゲル細粒(99%)	中外	乾燥水酸化アルミニウムゲル	配合	3.0g	0.4g	[白色の細粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
<234 制酸剤>			[4] 無機塩製剤													
重質酸化マグネシウム「ホエイ」	アストラ	酸化マグネシウム	配合	0.1g	0.4g	[白色の粉末又は粒状]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
重曹「ホエイ」	アストラ	炭酸水素ナトリウム	配合	5.0g	0.4g	[白色の結晶又は結晶性の粉末]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	
<239 その他の消化器官用薬>			[9i] その他													
プリンペラン細粒(2%)	藤沢	メトクロプラミド	配合	1.5g	0.4g	[白色の細粒]	25℃ 75%R.H.	外観	-	-	-	-	-	5℃、59%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	30℃、92%R.H. (35日)で 35日後まで変化なし	

製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

性状の項の[ ]は添付文書、日本薬局方品（メーカー名なし）は日本薬局方より引用

(1) 保存条件：日本薬剤師会・調剤技術委員会の配合変化試験法(薬剤学, 19(4), 276(1959))に準じて実施した

(2) 外観変化

-：変化の全く認められないもの

±：変化の有無の疑わしいもの

+：明らかに、変化は認められるが実際の調剤投与に差し支えない程度のも

++：調剤投与に差支える程度の変化が認められるもの